

白馬

はくば

議会だより

139号



冬季オリンピックイヤー 目指せ！未来のオリンピック



■ 村政を問う 一般質問 4p

- ・ 10年何も変わらない農林業をどうするか 5p
- ・ 協働のまちづくりを進めるための具体策は 6p
- ・ 大型開発には、同意書提出を条件にすべき 7p
- ・ 国の全国民発行目標は23年3月末だが 8p
- ・ パートナーシップ制度の導入は 9p
- ・ 村長の進退は 10p
- ・ 気候変動に向けた「村長」の舵取りは 11p
- ・ ふれあいの杜と世界の植物園を活かしては 12p
- ・ 接種についての情報提供で見直した点は 13p
- ・ OTAの客を観光局に誘導する策は何か 14p

■ 常任委員会審議

感謝!ふるさと納税3億円増

ふるさと納税基金事業に2億4587万円余りを積立 2p

各観光協会へコロナ対策集客イベント開催支援

上限100万円の補助 3p

■ 委員会掲示板

商工会との懇談会 村内の厳しい経済状況を共有

白馬村シニアクラブと懇談 幅広い分野で意見交換 15p

■ 夢・私たちに。「わたしのひとこと」 16p

総務社会委員会

感謝！ふるさと納税3億円増
ふるさと納税基金事業に2億4587万円余りを積立

の一部を改正する条

●議案第32号 記号式投票に関する条例を廃止する条例

白馬村長選挙における記号式投票を、自書式投票に変更のための条例廃止。

●議案第33号 白馬村特別職の職員で非常勤のもの報酬に関する条例の一部を改正する条例

消防団組織維持のため、団員の年額報酬を改定、出勤手当を日額制に変更。また報酬の支払先が分団から個人に変更。

●質問 報酬改定の考え方は。

●回答 報酬の見直しから着手、役職額は各自治体で差異が見られるので、団員報酬を基準にして決めた。

●議案第34号 村税等の納期を変更するための白馬村税条例等

村税及び後期高齢者保険料、保育料、放課後児童クラブ利用料の納期限を各月の末日(12月は25日)に変更し、関係条例を一括改正。

●議案第35号 白馬村使用料条例の一部を改正する条例

B & G 海洋センター体育館の改修により、新たに多目的室の設置に伴い、名称及び使用料1時間400円を追加。

●議案第36号 白馬村ウイング21条例の一部を改正する条例

ウイング21のクライミングウオール撤去に伴い項目を削除。

●議案第37号 白馬村国民健康保険条例の一部を改正する条例

上位法の一部改正により、出産育児一時金を40万4千円から40万8千円に引上げ。

●意見 移住定住促進策の一つとして、村独自の遺産税金制度を要望

●議案第38号 令和3年度白馬村一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出予算にそれぞれ4億4015万1千円を追加し、総額を63億5785万1千円とするもの。

ふるさと納税事業の1億8582万7千円の増額は、歳入のふるさと納税一般寄付金3億1500万円増額に伴う、クレジット決済手数料833万5千円、返礼品送料等1359万2千円、返礼業務委託料1億6390万円。ふるさと納税基金事業に2億4587万円余りを積立。

総務課

税務課

歳入の固定資産税2871万2千円増額し、

健康福祉課
心身障害者福祉事業668万8千円増額は、自立支援給付費増など。児童福祉給付費221万円増は対象者の増加。

住民課
後期高齢者医療事業の科目の組替え。

健康福祉課

生涯学習スポーツ課
スポーツ振興事業に、北京オリンピック・パラリンピックのパブリックビューイング委託料56万円計上。

生涯学習スポーツ課

子育て支援課
児童手当等給付事業1684万2千円の増額は、児童手当法の一部改正に伴うシステム改修と過年度還付金など。

●質問 パブリックビューイングの会場は。

●回答 ウイング21とジャンプ台の大型ビジョンを想定。

子育て支援課

●議案第39号 令和3年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)

教育課

中学校教育振興事業841千円増額は、新年度1年生が81名入学予定で3クラス編成予定、机、椅子が30不足するので購入。

歳入歳出予算にそれぞれ1400万円を追加し総額を10億7380万1千円とするもの。



ふるさと納税はいまや貴重な財源

各観光協会へコロナ対策集客イベント開催支援 上限100万円の補助

産業経済委員会

●議案第38号 令和3年度白馬村一般会計補正予算(第6号)所管事項

農政課

ほ場整備事業1950万円減額は、北城北部地区ほ場整備の調査設計委託料が、地域の事業推進協議会において、現時点ですべての地権者の同意が得られていないため。

質疑

問 村の事業負担額はいくらか。

答 基本割合は総事業費12億の5%で6千万円だが、集積率85%と集約率80%を満たすことにより、村の負担割合は7.18%の8625万円になる。

建設課

道路維持費352万8千円の増額は、除

雪事業の塩カル散布を直営としたことによる必要経費。財源は車両売払い収入を充当。

観光課

観光施設整備費の増額は、白馬槍温泉の登山道整備に300万円を負担。新たに感染症対策集客イベント開催支援補助金として各観光協会へ100万円を上限に助成する費用として400万円増額。

●陳情第4号 豪雪地帯対策特別措置法の改正等に関する意見書

豪雪地帯対策特別措置法の特例措置の延長、財政支援制度の創設を求める意見書の提出
特例措置の期限が令和4年3月末で期



順調な降雪に恵まれたが、除雪費が高むのが心配
豪雪地帯対策特別措置法の延長を望む

限を迎えることを受け、豪雪地帯対策特別措置法の10年間の延長と、豪雪地帯の住民の安全・安心な生活を確保するため、雪処理の担い手確保など豪雪地帯特有の課題に対して、交付金や基金等により柔軟に対応できる財政支援制度を創設するなど、総合的な対策を実施するよう強く求めるもの。

賛成討論
重要なことなので賛成。

令和3年第3回臨時会 議決結果

件名	議決結果
令和3年度白馬村一般会計補正予算(第5号)	可決

12月定例会 議決結果

件名	議決結果
白馬村特別職の職員で非常勤のものの報酬に関する条例の一部を改正する条例について	可決 賛成：全員
村税等の納期を変更するための白馬村税条例等の一部を改正する条例について	
白馬村使用料条例の一部を改正する条例について	
白馬村ウイング21条例の一部を改正する条例について	
白馬村国民健康保険条例の一部を改正する条例について	
令和3年度白馬村一般会計補正予算(第6号)	
令和3年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)	
追加議案	
令和3年度白馬村一般会計補正予算(第7号)	可決 賛成：全員
発委	
豪雪地帯対策特別措置法の改正等に関する意見書	可決 賛成：全員

請願・陳情文書

提出者	住所	要旨	審査結果
全国積雪寒冷地帯振興協議会 会長 花角 英世	白馬村	豪雪地帯対策特別措置法改正に関する意見書の議決について(お願い)	採択 賛成：全員

一般質問

村政を問う

安全で活力ある
村づくりをめざして

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、村長や教育長などの方針を問うものです。

白馬村は1問1答方式で、1人60分の制限時間内であれば、質問回数に制限はありません。

議会だよりでは、紙面の都合上、質問者が要約して掲載しています。

本会議はユーテレ白馬でご覧いただけます。

質問内容

- ・10年何も変わらない農林業をどうするか … 5
- ・協働のまちづくりを進めるための具体策は… 6
- ・大型開発には、同意書提出を条件にすべき… 7
- ・国の全国民発行目標は23年3月末だが …… 8
- ・パートナーシップ制度の導入は… …… 9
- ・村長の進退は… …… 10
- ・気候変動に向けた「村長」の舵取りは… …… 11
- ・ふれあいの杜と世界の植物園を活かしては… 12
- ・接種についての情報提供で見直した点は…… 13
- ・OTAの客を観光局に誘導する策は何か …… 14

フォトニュース



村内外から多数の参加で
活気と盛り上がりのあった
都市計画マスタープランワークショップ
どのように反映されていくのか…



津滝 俊幸 議員

【経済対策】
コロナ禍にある村の
経済対策の方針は。

問 10年何も変わらない 農林業をどうするか

答 担い手づくりが一番重要！ 育成に取り組む

問 国の方針に基づき、コロナ感染症の再拡大の防止に努める。地方創生臨時交付金の枠組みを活用し、厳しい状況にある事業者や生活者への支援、エネルギー価格高騰への対応などを考えている。

答 今シーズン佐野坂スキー場が休業するが、経済的影響は、休業はたいへん残念。来期へ向けて再開できるよう働きかける。他のスキー場から送迎もあり、観光協会などへ村も支援していく。

問 岸田内閣の成長と分配について、村への影響は何か。

答 地方を活性化していく「デジタル田園都市国家構想」において、成長分野では農林水産業の輸出・生活基盤強化、観光の高付加価値化、地域公共交通支援、文化芸術振興が該当。更に分配では、賃上げを行う企業へ財政支援、下請け取引の監督体制の強化、最低賃金引上げ事業者への助成

の拡充などが該当。
問 簡単に現在の経済状況下での賃上げは無理。村は率先して山小屋などの宿泊料金を上げて行くべきでは。

答 山小屋に関する条例改正は行う。観光IT事業のサービスなど質を上げる取組が必要。
問 経済活性化策として、スマートシティー構想への取組は。

答 IT技術者の不在や住民への理解不足など課題があり、現在は厳しい状況。
問 売り上げ減少による、村の財政状況の今後の見通しは。

答 本年度も村民税で4500万円、固定資産税で3200万円減収。その分普通交付税が増えた。自主財源は減るが依存財源は増えるので、トータルでは減収による影響はない。

【農林業振興】

問 脆弱な経営体質にある農林業の後継者育成において、アグリスクールやフォレストスクールを開講しては。

答 国の育成事業を活用し、県や農協、地元農業者の力も借り、後継者が長期にわたり営農できる体制を整えたい。

問 資材の高騰や高齢化、担い手不足など生産現場からは農業の未来が見えない。業界の経営体質の改善や将来への振興策は。

答 地域内消費や地産地消の推進、補助金体質からの脱却、スマート農業の推進や技術の伝承など。

問 植林した杉などは伐採時期にきて



北城北部地区は場整備事業エリア図
100年の計に立って、優良農地を後世に残す事業を

いる。伐採や搬出に係る経費の高騰により木を売っても原価割れの状況。森林整備の事業化の見解は。
答 森林贈与税の活用による、公共性の高い森林経営管理の実施。薪ストーブや薪ボイラーへの利用など、木質エネルギーの村内循環として地域内エコシステムの事業化を検討。

協働のまちづくりを進めるための具体策は

地区担当職員制度を活用して目標値を設定



増井 春美 議員

【協働のまちづくり】

問 地区担当職員制度の概要と現状は。

答 平成18年度に制度がスタート。基本的には地区からの要望に対し、職員が役場のパイプ役として信頼関係の構築に努めている。

問 制度は機能していないのでは。

答 総務課長 地区役員には聞きなれない部分もあると思うが、加入率は担当職員のなかでわかる者が確認しながらチェックし、加入率の推定を出して

いる。各役員とのつながりが無いというのであれば、今後見直すことも考えるが、制度にそって動いている部分もあるとご理解いただきたい。

問 集落支援員の概要と現状は。

答 ノウハウ・知見を有した人材に委嘱。集落の状況把握、住民と行政の間での話し合いの促進等を実施、経費は特別交付税措置。11月末現在6名。業務は地区の書類作成、林業振興、道路維持に関すること等、地区からの要望対応を中心に活動。

問 地域おこし協力隊の概要と現状は。

答 都市地域から過疎地域等の条件不利地域に移住し、地場産品の開発等、地域協力活動を行いながら、地域への定住・定着を

図る取組。任期は1年以上3年未満で、経費は特別交付税措置。11月末現在3名。移住定住促進、情報発信、白馬高校支援業務など活動を行っている。

問 採用方法及び定住率は。

答 副村長ある程度幅を持ちながら採用。3年任期終了者は16名、定住者は4名で定住率は25%で低い。

問 行政と住民の協働を進めるための具体策は。

答 地区担当職員制度を活用して、行政区の加入率と、地域づくり事業補助金活用地区数の目標値を設定。また、集落支援員を中心にコミュニティを維持・活性化する。

【ごみ・リサイクル集積場】各地区ごみ・リサイクル集積場実態調査結果は。

問 地区衛生委員と、小規模ステーション使用者を対象に調査した。回収率は96%で、燃えるごみ、燃えないごみの分別は90%以上。リサイクル物の分別は概ね70%から90%はできていると回答。

問 調査を受けての見解と、具体的な改善策は。

答 原則地区集積場には事業系一般廃棄物を出さないように、また、白馬リサイクルセンターへ持ち込む際は、事業系指定袋に入れて出すよう、村内500の事業所へ、協力をお願い通知を出した。

問 ルールが守られていない。その後の対応は。

答 ごみ・リサイクル物の分け方・出し方早見表を全戸配布。実際の写真を掲載・広報紙等で周知。事業系一般廃棄物の搬出は、収集業者へ個別委託処理への移行のお願いをしている。

問 ごみ・リサイクル集積場実態調査結果は

答 燃えるごみ、燃えないごみの分別は90%以上



青鬼地区の堰(せぎ)ざらい 県・役場・ボランティア・地区の皆さん



加藤 亮輔 議員

問 〔大規模開発と開発姿勢〕
諏訪郡富士見町の太陽光発電設置工事に

問 大型開発には、同意書提出を条件にすべき

答 近隣住民の同意書提出義務づけの考えはない

問 関して、住民から安全と生活環境に対して、不安と反対の声が広がる中、富士見町長は「高い開発圧力に、通り一遍の規制だけでは生活環境、自然環境は守れない」と判断し、事業者が近隣住民・関係区の同意書の提出を許可条件にする条例改正案を提出した。白馬村も、富士見町を見習って、近隣住民の同意書提出を許可条件に加えては。

答 開発行為に対して、事業者が近隣住民の同意書提出を義務づける考えはない。

問 雑誌『世界』の特集記事に、開発に直面している自治体を対象に「説明会の開催、住民同意の義務付け」の条例制定についてのアンケート結果が記載。環境に関する条例制定済みと検討中の自治体175の自治体を対象に、住民への説明会開催が99団体、住民同意の義務付けが33団体、富士見町の職員も旧建設省から「同意書の提出を求め

ることは適当でない」との通達は十分承知しているが、安全と住環境が心配。「条例を作ることで、開発の抑制につながれば」と、苦渋の選択との返答。アンケート結果、職員の話聞いての見解は。

答 財産権、自由な経済活動、旧建設省の通達もあり、同意ではなく地元説明を義務づける現在の方式を継続したい。

問 来年度のスクールバスは、通年運行か
答 予算編成に取り組む中で判断する
問 〔スクールバスの拡充と活用〕
小学生を対象に試験運行を冬中心に2年実施。来年度は通年実施か。
答 教育委員会としては、登下校の安全確保のためにはスクールバスは有

効な手段と考え、通年運行を目指しているが、新年度の予算編成の中で検討する。
問 地域公共交通網形成計画の課題を協議する組織と内容は。
答 所管は総務課で、来年度から開催予定。個別の課題は担当課が部会を開催し方向性を示す。

問 白馬山麓清掃センターの跡地の整備計画は
答 ふれあいの杜を中心に公園化を検討

問 〔ごみ焼却場跡地の活用〕
白馬山麓清掃センター跡地に建設するリサイクルプラザの目的と事業費は。
答 リサイクルの拠点施設で、資源回収・リユース品受入れ展示、フリーマーケット・バザー活動、研修会等の開催支援。総事業

費は1億円以内で調整中。
問 煙突がなくなり、非常に見晴らしがよくなった。跡地は自然の素晴らしさを伝える平地観光の拠点になる、これを機会に、148号の松川右岸堤防を国道から二股まで遊歩道、サイクルロードを整備する等、大きく考えられないか。

答 地元区からも、ふれあいの杜だけでなく、松川も含め広いエリアでの観光公園化の要望があり、地域の方々と全体構想を考えていきたい。





田中 麻乃 議員

【多様性を認め合う村を指して】
問 村青少年育成村民大会・社会福祉大会での中学生の意見発表、文化祭でのジェンダー平等に関する作品をどのように捉えたか。

問 パートナーシップ制度の導入の考えは

答 向き合うべき事項である

最も重要なこととして性的マイノリティーについて理解しようとする心が大切。私たち一人ひとりが関心を高め、その存在を認めることこそが権利向上につながることで、学校教育において多様であることへの理解を深めることの重要性を認識した。

問 性的マイノリティーの子どもの現状を把握しているか。

答 性的マイノリティーに限らず、子どもの様々な心の悩みには、養護教諭をはじめスクールカウンセラーや心の相談員を配置し、総合的な支援の中で対応している。

問 性的マイノリティーの子どもへの課題、教育と啓発、支援へとつなげていける取組は。

答 全ての年代に言えることだが、LGBTQ^{注1}等について正しく知識や理解を深めることが課題。白馬中では今年度の重点としてSDGsを取り上げていく。その中のジェンダーレ

スについての取組が、今年度は制服変更や意見発表等に成果が出ている。大人に對してもSDGsの観点から啓発をしていかなければならない。

問 LGBTQの方々を指す上で、村の認識と今後の取組は。

答 まずは、知識と認識の向上を図ることが肝要。早い段階で長野県作成のガイドラインを使つての庁内学習会を実施できればと考えている。

問 国の自殺総合対策大綱において、自殺念慮の割合等が高いことが指摘されている性的マイノリティーについては、未理解や偏見等がその背景にある社会的要因の一つであると捉え、教職員の理解を促進するとされている。性的少数者に対する学校での具体的な取組は。

答 教育委員会としては、LGBTQに特化してやっていない。自殺総合対策大綱の中にも、教職員の理

解の促進、適切な教育相談とすることが明確に書かれているので、進めてはいきたい。

問 児童生徒、学生に対して、LGBTQを切り口に、多様性を体感、実感するための授業を、教職員にはLGBTQの生徒がいることを実感し、セクシュアルマイノリティーの子どもにとつても過ごしやすい学校をつくるアライ^{注2}先生になるための研修を、外部団体と連携して行なう考えは。

答 白馬中においては、PTAの研修会、人権研修会の中でそういった方もお呼びして講演も行っている。選択肢の一つとしてご意見は賜りたい。

問 県立高校入試では、令和2年度から性別欄が廃止された。教育関係を含めて、性別欄について今後の対応は。

答 検討させていただきたい。

問 パートナーシップ制度、またはファミリーシップ制度の導入についての考えは。

答 この質問の通告を受けるまでパートナーシップ、ファミリーシップ制度についてほとんど意識していなかった。今後、制度導入の意義や導入自治体の状況を研究したい。

注1：L：レズビアン（女性同性愛者）、G：ゲイ（男性同性愛者）、B：バイセクシュアル（両性愛者）、T：トランスジェンダー（心と体の性が一致していない方）に加えて、自分の性が分からないという「クエスチョニング」と性的少数者を表す「クィア」のQを加えたセクシュアルマイノリティー全般を表す言葉。

注2：英語で「同盟、支援」を意味する「ally」が語源で、LGBTQの当事者ではない人が、LGBTQに代表される性的マイノリティを理解し支援するという考え方、あるいはそうした立場を明確にしている人々を指す言葉。



白馬中学でのSDGsミーティング。LGBTQ差別について講義を行う。

任期満了に伴う 次期村長選での進退は

まったく白紙の状態

答



松本 喜美人 議員

【村長継続の有無】

問 令和4年8月6日で村長任期が満了となります。進退は。

答 村長 2期目を迎えた平成30年8月7日から今日まで、この任期を全力で全うすることのみを念頭に置き、職務にあたっています。したがって、まったく白紙の状態です。

問 進退について、遅くともこの時期にまでには判断したい時期は。

答 村長 先ほど答弁したとおりです。

問 達成度の低い項目と、その要因は。

答 村長 成果が表れたと言えないのは、「複合施設の図書館と子供の遊び場の確保」、「公共交通の利便性を図り住民の足を確保」で、図書館は立地場所の議論難航や、公共交通は実施計画に向けて、住民の生活交通と観光交通の両面からの検討と、両事業とも財政的な側面も要因です。

問 任期満了までに、一定の成果まで押し上げる項目は。

答 村長 いずれも重要課題であり、全て押し上げることが使命と認識しています。あえて、公約の項目で申し上げるならば、持続可能な観光地を目指すうえで、新たな観光財源は必須であり、「白馬みらい観光税」の検討再開を図りたいです。

公約達成度の自己評価は

最低限のラインはクリア

問

答

【公約の達成度】

問 2期目の公約では、5本柱の政策として観光振興、住民福祉の推進、教育文振興、農業振興、行財政改革、これらの具現化に11項目を掲げ、3年と4カ月が経過しました。達成度の自己評価は。

答 村長 11項目全般の評価は、達成度に違いはあるものの、すべての項目に取り組んだという自負があります。

問 達成度の低い項目と、その要因は。

答 村長 成果が表れたと言えないのは、「複合施設の図書館と子供の遊び場の確保」、「公共交通の利便性を図り住民の足を確保」で、図書館は立地場所の議論難航や、公共交通は実施計画に向けて、住民の生活交通と観光交通の両面からの検討と、両事業とも財政的な側面も要因です。

問 任期満了までに、一定の成果まで押し上げる項目は。

答 村長 いずれも重要課題であり、全て押し上げることが使命と認識しています。あえて、公約の項目で申し上げるならば、持続可能な観光地を目指すうえで、新たな観光財源は必須であり、「白馬みらい観光税」の検討再開を図りたいです。

【新年度の予算編成】

新年度、地方債の 新規発行額は

元金償還額 7億3千万円以下

問

答

問 新年度の重点施策は。

答 村長 今月中に、各課ヒアリングを実施して決定予定です。ただし、グランピング最終年度である地方創生推進交付金や、気候非常事態宣言をした村として小水力発電事業は、継続的な重点事業です。

問 新年度予算編成は、本年度実施した「枠配分方式」を採用か。また配分枠は。

答 村長 「枠配分方式」を採用し、一般財源の配分は令和2年度予算対前年比95%、令和3年度予算対前年比97%で、令和4年度予算は前年度歳出の一般財源額と同額を、要求限度額として指示しました。

問 新年度の地方債新規発行額は、元金償還額以下を目標に定めるのか。

答 村長 新年度の地方債新規発行額は、最低限、元金償還額7億3千万円以下に抑え、実質公債比率^{注1}や将来負担比率^{注2}の悪化を止めるためにも、更に抑えるつもりで予算編成に取り組む考えです。

注1 元利償還金の標準財政規模に対する比率で、資金繰りの程度を表す指標で、10%を超えないことが望ましいといわれる。本村の3ヶ年平均数値は10.9%。

注2 将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率で、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標。本村では70.7%。



誰が射止めるか？白馬村長の椅子



尾川 耕一 議員

問 気候変動に向けた「村長」の舵取りは

答 1人の100歩より100人の1歩の取組を進める

〔取り組みやすいゼロ・カーボンの政策〕

問 気候変動対策への村長の情熱はどこからきたか。

答 雪不足が原点。ユタ州パークシティーの

方の公演や阿部知事から聞いたことによる。また白馬高校生や一般の村民の人たちの情熱にも動かされた。

問 「白馬村再生可能エネルギー」に関する基本方針等連絡協議会」審議内容の広報の方法は。

答 資料と議事録については、村のホームページで随時、公開している。

問 第5次総合計画の後期計画の中に書かれているゼロ・カーボンへの行動計画の策定目標は、2025年となっている。実際の行動は2026年から開始するということか。

答 総合計画は、KPI（定量的な業績評価）で目標値を設定するので、状況を見ながら変更する。来年の4月からの行動は。

問 協議会の行動計画の国への報告は1月末にする。答申される計画書に沿って、住民と事業者の行動計画を実行に向け、行政と住民、事業者が一丸となって取り組んでいきたい。

また、環境負荷の軽減やZEH^注などの周知を行う予定。

問 今後の住民や事業者への啓発活動の予定は。

答 計画策定後には本編に加えて概要版を作成する。住民や事業者に対して、様々な媒体を通じて周知や行動の呼びかけを行なっていきたいと考えている。

問 保育園や小中学校などで、取り組みやすい再エネ100%の電力に変えないか。また2030年頃まで村内で新たな再エネ電力を建設していく方針は。

答 白馬村は水が豊富なので、小水力発電の推進を念頭に置いている。

問 村民へのコロナ影響を調べるアンケートは村としては実施しておりませんか

〔コロナ対策！観光客に「安心安全な白馬」をアピール〕

問 コロナ対策などの広報は、今のままで十分と考えるか。

答 大きな苦情や不満を頂いていないので、大きな問題はなかったと判断している。

問 コロナ関係全般の情報統括する担当者、またはチームなどを作る考えは。

答 感染拡大、当初から第5波までの間、幅広い施策や緊急性を兼ね備えた時期を乗り越えた現時点では、必要ないと考える。

注：断熱性の向上と省エネ+太陽光などで発電し、建物で必要なエネルギー消費量を正味0にしている住宅



白馬南小学校のPTAと6年生による断熱プロジェクト
壁に断熱材、窓を2重窓に改造した

問 ふれあいの杜と世界の植物園を活かしては

答 白馬大橋付近は上高地に匹敵する場所と認識



丸山 勇太郎 議員

副村長 管理してないわけではないが、美化には努めていきたい。

【公園・ポケットパークの管理と整備】
問 マスタープラン作り
のアンケート等を通じて、相変わらず公園やポケットパークの要望が多い。実際に公園は村内に複数、ポケットパークは役場にもあるのだが、管理が行き届かず活かされていない。管理と整備はどうなっているのか。役場敷地内の写真を見てどう思うか。

答 村長 どうは思わないが荒れてるな、とは思っている。

問 ふれあいセンター横の親水広場は、2億円が投じられた木流川水環境整備事業の起点のポケットパークだが、桜は枯れ、草も伸び放題状態。今や第2庁舎化していることは、一括して総務課管理としてはどうか。

答 副村長 管理が悪いのは素直に反省する。庁舎管理の一環にするが方法は考える。

問 白馬東山自然園(あやめ園)は、県事業で1億円かけ用地買収もした。隣のキャンプ場に取り込まれたトイレやあずまやは村の財産ではないのか。廃園の賃貸借契約はあるのか。

答 副村長 建物は村の財産で確かに一旦整理は必要。所有権はしっかりとって手続きを取りたい。

問 ウィング21横の世界の植物園は、ちょっと金をかければ素晴らしいところになる。望まれている固定遊具付き公園として再生できる場所だがやらないか。

答 副村長 伸びしろのある施設だと思う。村長 検討はしていくが、若いお母さん方の望むイメージには合わないかもしれない。

問 松川端のふれあいの杜公園はリサイクルセンターに提供したが、石彫や樹木は残り、河川内公園や日本の道百選道路、西側に計画されるリサイクルプラザ一带と合わせるとSDGs 的未来志向の象徴的な場所になる。一帯を活かすための青写真を描けるか。

答 総務課長 白馬を知っている方に頼み、全体

構想は立てていきたい。
村長 上高地に匹敵する景観の場所だと思っている。手をかけ新たな白馬の観光スポットの一つにしていきたい。

問 災害廃棄物処理計画の策定予定は
答 令和5年度中に策定したい

【災害廃棄物処理計画】
問 近年、豪雨・大型台風が頻発し、近い将来大型地震も起こるとされる。ひとたび大規模災害が起きれば大量の災害廃棄物が発生する。管内の池田町・松川村では策定済み、大町市は今年度中に策定する同計画の策定予定は。

答 環境省の計画策定モデル事業に応募し、支



援を受けながら令和5年度中の策定を目指す。

「ふれあいの杜公園」(左)と「世界の植物園」(右)は、未来志向の素晴らしい公園に再生できる可能性がある。



加藤 ソフィー 議員

問 接種についての情報提供で見直した点は

答 現時点で、特に見直した点はない

【新型コロナウイルスワクチン接種についての情報提供】
前回の一般質問で、ワクチン接種についての情報が不十分ではとの指摘に対し、新たに12歳の誕生日を迎えた方に接種券を

送付する資料はどのような情報が良いか、検討すると答弁だった。その後見直した点は。

答 特に見直した点はない。年代別の感染者数、重症化率、死亡率や副反応に関する詳細なデータなどは、インターネットなどから容易に入手可能であることから、必要性は薄いと判断。

問 ワクチン接種を勧奨しなければならぬことは理解するが、ワクチン接種のリスクを心配する方や、打てない方もいる。不当な差別や分断、誤解を生まないために情報提供が必要。3回目の接種券に同封する資料にはそのような記載を求めるが。

答 接種した方に何らかの事情で打てない方がいることを理解を頂き、反対に未接種の方についても、ワクチン接種にご理解をいただくような内容で通知をしていきたい。

問 食育推進計画に有機給食の導入を加えては

答 策定委員会にて検討したい

【食育と農業】

問 今年度が第2期食育推進計画の最終年度。目標の中で、地産地消認定制度の創設とあるが。

答 副村長 私が言い出したことだが、その後担当課長ではなくなり、創設はできていない。地産地消の推進は、今まで地場産推進委員会に頼り切っていた部分があるので、違う方法を模索していかなければならぬとは思っている。

問 これから認定制度を創設していくならば、地産地消というだけでなく、有機JASに代わるような村独自の制度にしては。

答 国の目標でもあるみどりの食料システム戦略^注にもあるように、有機

栽培というのはこれからの命題になっていく。県の認証も活用しながら進めたい。学校での食育は給食がとても大きな役割を担っている。近年、アレルギーを持つ子どもが増加傾向にある。センターで対応している全体の数とアレルギー対応している数は。

全体は700食程度。アレルギー対応数は現時点で答えられない。アレルギー対応している数は20食ほどと聞いている。今後増減の予測は。増えた場合は対応可能か。

答 予測はできない。現時点では大丈夫だと考えている。

問 給食で使用している農作物に使用されている農薬等の使用量を把握しているか。

答 細かくは把握していない。子どもの健康を第一に考え、農薬が心身の健康に悪影響を与えている可能性を鑑み、有機の農作物を積極的に給食に取り入

れるべき。また有機農業推進の出口戦略としても、有機農産物を積極的に買い取るシステムと予算が必要では。

低農薬や有機農産物は規格に合わないこともある。今後話し合っていければと思う。

問 気候非常事態宣言をした村としても、環境に優しい農業を進めて行くべき。次期食育推進計画の目標に有機給食の導入を追加しては。

答 次期の計画は現在策定中であり、委員会でも検討していきたい。

注 農林水産省が農業の生産向上と持続性の両立の実現を目指す目的で策定したものである。中には有機農業の農地を2050年までに全体の約25%にするなどの目標が掲げられています。



はぜかけの風景
日本の農業の未来を明るくするには食育がカギを握るのではないだろうか

問 OTAの客を観光局に誘導する策は何か

答 地域の独自性ある、魅力的な商材の提供が必要



太谷 修助 議員

問 〔白馬村協働予約システム〕

問 観光局は、観光庁の「既存観光拠点再生・高付加価値化推進事業」補助金を活用し実証実験を開始した。観光局独自の事業だが、答えられる範囲での村の考えは。

答 この実証実験の目的は、年に8億円と推定されるOTA手数料を可能な限り村内にとどめ、その資金をプロモーションに活用できる仕組みとして、地域独自のOTAの実現可能性を検証すると説明を受け

ている。

問 3月にこの実証実験が終われば、システムが稼働すれば、システム使用料が発生すると思うが、その後の対策は。

答 システム導入費用と1年分のシステム使用料を補助金で賄っている。来年4月から直ちに使用料が発生することはない。事業効果の検証後になるが、本格運用となれば1年後から使用料が発生することになる。

問 白馬村観光局が、将来的にOTAの代表になれるような策はあるか。

答 観光局の執行理事会でも取り上げられている。実証実験終了後の本格運用に当たっては、巨額資金を動員できる既存事業者からシェアを獲得するには、地域の魅力ある商材の提供が必要であると考ええる。

問 手数料の域内循環というが、観光局で得られた財源は村内のみで活用されるべきと考えるが観光局の代表理事でもある村長の見解は。

答 送客で得た手数料は誘客に活用されると理解している。送客と誘客の循環で事業規模が大きくなれば、既存OTAからシェアを獲得するためのインセンティブへの活用も考えられる。

問 村としてGOTOトラベル不参加の選択肢は

答 不参加を選択する理由は見当たらない

〔GOTOトラベル再開に向けて〕

問 PCやタブレット操作が不慣れで、参加できない人たちへの配慮や手立ては。

答 PC操作を含め事務手続きに不安のある施設に対しては、観光局の職員が施設を訪問しながら幅広く且つ丁寧にサポートしているので、相談してほしい。

問 昨年の苦い経験をした多くの宿泊さんは、複雑な仕組みと面倒なシステムには閉口している。行政としてはと考えるか。

答 GOTOトラベル事業は様々な問題や指摘があったが、観光業全体が再開を待ち望んでいると

考えている。安心安全な旅行環境の確保、中小事業者への配慮を含め、専門家の意見等を考慮しながら前向きに捉えて頂きたい。

問 昨年のような濃密な人流で、再度感染が広がった場合の対策は。

答 再拡大を引き起こさないために、希望者へのワクチン接種、従業員への検査体制強化・支援や会社等の感染予防対策などを含めた、感染症対策事業に注力している。



12月18、19日の大雪でスキー場はホッとしている。新型コロナを抑えて、国内のスキー客が押し寄せれば、GOTOトラベルにつながっていけるのだろうか？

商工会との懇談会 村内の厳しい経済状況を共有

令和3年11月18日に商工会との懇談会を行いました。商工会が行った新型コロナウイルス感染症の影響及び事業者支援に関するアンケート調査の結果報告では、コロナ禍の売上の減少など経営への影響が引き続き心配されることなどが示されました。

観光地として淘汰されないための研究等を行うウィズコロナ・アフターコロナを乗り切るための検討委員会による検討状況について説明があり、本村において感染拡大が顕著となった令和3年1月及び8月の感染状況の分析や、村が新型コロナの状況について発信する情報の集約や工夫のお願いなどの要望がありました。

意見交換の時間では、「村内の建築物件の施工業者の約半分が県外という状況。村内の建築工事などではできるだけ村内の業者が施行できるようになって欲



しい。」「宿泊業者がどんどん減ってしまっているという課題を考えて欲しい。」「固定資産税の減免について、村のホームページで広報されていたらしいが、知らない人が大勢いた。情報の出し方が問題ではないか。」「議会は村民の声を聞いたり、行政をチェックする役割であるはず。」などの意見、要望を頂き、それに対しての議員の考えを共有しました。

白馬村シニアクラブと懇談 幅広い分野で意見交換



令和3年11月16日、コロナも落ち着いている時期に人数を絞り、クラブ側は本部役員の8名、議会側は全員で約1時間45分間にわたり、懇談を行いました。

短い時間でしたが多岐にわたる課題が挙げられました。地域高規格道路(松糸道路)、投票率の低さ、図書館複合施設の計画問題、地域包括支援センターの人

員・担い手、誘客用のグラウンド、GOTOキャンペーン、国土調査の進捗状況、ワクチンの接種、地球温暖化、等々のご意見を頂きました。

一例を挙げれば、「観光局と村観光課とハクババレーツーリズム。村の主産業である観光の3団体の一体感が感じられない。」という指摘に関しては、産業経済委員会に「白馬村観光組織研究会」が設置され、業務内容等を調査し来年中旬以降に、村長に検討結果を報告すると説明しました。また地域経済や生まれ育った若者の流出、宿泊施設や農業などの跡継ぎ問題、人口減少への懸念が指摘されました。

今回の参加者の中には、議員経験者も多くおられ、幅広いご意見や議会活動への貴重なアドバイスを頂きました。ありがとうございました。

議会だよりもマチイロ開始しました

スマホアプリで白馬議会だより配信中！！



マチイロ

マチを好きになるアプリ



ご意見をお寄せください。85-0725(直通)72-7001(ファックス)

夢、私たちに。

わたしのひとこと



ハクバメシ

瑞穂 岡澤 悠介

私自身が営む『鉄板Diningやまなみ』も5回目の冬のシーズンを迎えました。

この2年で飲食業を取り巻く環境も様変わりし、インバウンド需要主流から、国内に向けた地産地消、マイクロツーリズムやガストロノミーツーリズムといった取り組みを発信する場が必要と考えています。

これ一つで白馬の飲食店が全て探せる。をキーワードに村内飲食店を広く紹介するサイト『ハクバメシ』(https://hakubameshi.net/)を白馬商工会青年部で立ち上げました。こちらは村内事業者どなたでも、安価に(商工会会員は無料、非会員も2023年秋まで無料、その後も低価格)掲載でき、ページ作成も本年秋までは商工会会員、非会員問わず無料です。

観光のお客様はもちろん、村民の皆様にもご活用できるものとなっています。

食を通して地域の活性化に繋がるお手伝いできればと願っております。



楽しんで暮らす

エコランド 岡崎 由香

私が宿の仕事のために白馬に移り住んでから4回目の冬を迎えて、雪かきにもすっかり慣れました。

私が白馬に来て感じたことは、自然の美しさはもちろんのこと、ここで暮らしている人たちが本当に生き活きている、毎日を楽しんでいるのだらうなということでした。

もともとそのような方々が白馬村に集まっているのか、白馬の環境がそうさせるのか・

私も感化され、日々を楽しんで暮らしています。

ここでの生活は、時には自然に振り回されることもあります。多くを与えてくれる自然に感謝するとともに、ますます活気のある白馬村になるように、私自身も白馬をもっと知り、白馬を訪れる人たちにも白馬の魅力を伝えていこうと思います。



次の世代へ

白馬町 田中 義之

白馬村に生まれて34年。生まれたときからずっと見続けてきた白馬三山、四季を通して姿が変わる山からは沢山のエネルギーをもらっています。以前、私が生まれる前の航空写真を見たときに現在よりも田んぼや木々が多くあったことを覚えています。

私にはもうすぐ4歳になる娘が居ますが、この子たちの世代にどんな景観を残せるのか?とても重要な課題だと思っています。私は農業の会社で働いているのですが、高齢化により耕作放棄地がどんどん増えていきます。田んぼや畑は作物を作らなくなった途端に雑草や雑木だらけになってしまいます。そうならないためにも作物を作り続けていく必要があります。

この美しい景観があってこそ白馬という観光地だと思うので、次の世代のためにも農業を通じて白馬村の景観を守ることに取り組んでいきたいです。

あ と が き

昨年の世相を表現する今年の漢字に「金」が選ばれた。コロナ禍において開催された東京五輪で日本選手が活躍し、多数の金メダルを獲得。新型コロナウイルス関連の給付金でも多く使われた。

2022年とはどんな漢字が選ばれるのだろうか。個人的には「明」。コロナワクチンや治療薬が行き渡ったり、先行きの明かりが見えてくる年になってほしい。

先日、シニアクラブの大先輩議員から一言、村民から議員は何でも知っていると思われている。「とにかく勉強だ。」確かにその通り。

今年1年、村民の皆さまへ議会の動きを「議会だより」を通じてお知らせ致します。

(増井春美)

議会広報特別委員会

- | | |
|-------|--------|
| 委員 長 | 田中 麻乃 |
| 副委員 長 | 尾川 耕 |
| 委員 | 増井 春美 |
| 〃 | 横川 恒夫 |
| 〃 | 加藤ソフィー |
| 〃 | 切久保達也 |
| 〃 | 丸山勇太郎 |
| 議 長 | 太田 伸子 |

白馬議会だより 139号 令和4年1月31日発行
 発行 長野県白馬村議会
 編集 議会広報特別委員会
 印刷 PO印刷(株)
 〒399-9393 長野県北安曇郡白馬村
 ☎0261-72-5000 FAX0261-72-7001
 http://www.vill.hakubada.jp/assembly/assembly.html E-mail gkai@vill.hakubada.jp